

台湾 8 ● 台湾の原住民族 2

台湾南部、屏東県霧台郷の霧台小学校は、原住民族・ルカイ族の子どもたち30人が学んでいます。山間部の学校という地理的条件の中で、学校は教育環境の整備に力を注いでできました。先祖から受け継いだ伝統文化を守るため、独自の言語や生活習慣を学ぶ授業が教育課程に組み込まれています。

■制作協力Ⅱ台北駐日経済文化代表処／協力Ⅱ屏東県立霧台国民小学／写真と文Ⅱ萩原正人



豊かな自然に囲まれた霧台小学校



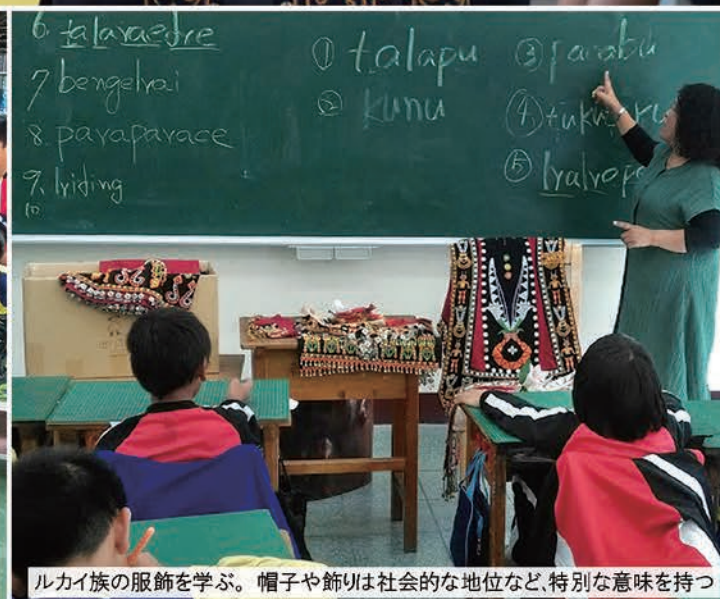
学校の塀には人々の暮らしが描かれている



原住民活動日には、生徒も先生も伝統的な民族衣装を身に着ける。少女が頭に着けた白百合はルカイ族の象徴だ



「刺福球」(パイナップルの葉で作った球を竹竿で突き刺す祭事で、男子だけ参加できる)の球を作る



ルカイ族の服飾を学ぶ。帽子や飾りは社会的な地位など、特別な意味を持つ



竹竿を使った「押し相撲」はルカイ族の伝統競技

産経 子どもニュース 育て！子どもたち
台湾シリーズ感想募集中

日本のお隣、台湾の情報を12回にわたり発行します。
みんなの感想を大募集！
感想を送ってくれた方には、フジテレビのグッズを全員にプレゼントします。

QRコードがホームページからアクセスしてね！
<http://www.sankeikids.com/>

台湾シリーズは下記のホームページで見られます。

台北駐日経済文化代表処ホームページ
<http://www.roc-taiwan.org/jp>

産経子どもニュース「育て！子どもたち」
<http://www.sankeikids.com>

霧台小学校の前身は1927年に設立された4年制の「霧台教育所」です。当時は村民が協力して作ったわらぶき屋根の校舎で、駐在所の警察官が教師を兼任していました。霧台郷には豊作を祈願する豊年祭や祖先に感謝する祭礼など、古くから受け継がれてきた民族色豊かな伝統行事があります。